



社団法人 全国子ども会連合会

による「美しい森林づくり」に向けた取組



募金活動と森林づくり活動を通して 森林に対する意識が高まる

全国子ども会連合会では、子どもの心身の成長発達を促すために、地域で自然に触れたり学ぶ活動を進めています。森林づくりについて考える機会を設けるとともに、子どもたちに森林づくりの意識付けをする観点から、募金活動を行っています。さらに、木を大事にしようという気持ちを芽生えさせ、森林に対する意識が高まっていくように、自分たちの手で木を植える活動も推進しています。

「MOTTAINAIキッズ植林プロジェクト」の実施

全国で子どもたちによる森林づくり等がさらに広がっていくことを目指して、平成18年から、ノーベル平和

賞受賞者のワンガリ・マータイさんが名誉会長を務める「MOTTAINAIキャンペーン」の一環として、(社)国土緑化推進機構・毎日新聞社と連携し「MOTTAINAIキッズ植林プロジェクト」を実施しています。

子どもたちに正しい森林の守り方・育て方を伝える

これまで連合会では、各地で森林づくりや募金活動を行ってきましたが、「美しい森林づくり全国推進会議」に参加することで、木は植えるだけではなく、適切に利用する必要があることの重要性を再認識し、木のありがたさを感じながら、正しい森林の守り方や育て方を子どもたちに伝えていきたいと考えています。

【取組】全国展開

「MOTTAINAIキッズ植林プロジェクト」

全国各地で、地域の「子ども会」の子どもたちが集い、植林をはじめとしたさまざまな森林づくり活動を、地域と交流を深めながら進めています。平成18年から19年の2年間で全国で22回の植林活動を行ってきました。



▶ 秋田県美郷町での記念植樹におけるマータイさんの挨拶

【取組】全国展開

「MOTTAINAI 緑の募金」の呼びかけ

「MOTTAINAIキッズ植林プロジェクト」では、マータイさんの植林活動「グリーンベルト運動」と国内の森林づくりを促進する「緑の募金」に寄付する「MOTTAINAI 緑の募金」を呼び

かけています。募金箱は、再生紙とペットボトルで作成し、子どもたち自身も募金をしています。



▶ 鮮やかにパッケージされたペットボトルの募金箱

社団法人 全国子ども会連合会

子ども会は、異年齢の集団による仲間活動、特に子どもの遊びの特徴をとらえた活動をすすめ、社会の一員として必要な知識、技能、態度を学ぶとともに、健全な仲間づくりをすすめ、子どもの心身の成長発達を促すために、地域を基盤としてつくられた。当連合会は全国に点在する子ども会の活動を助成するなどの取組を行っている。

【問い合わせ】〒112-0012 東京都文京区大塚6-1-14 全国子ども会ビル TEL:03-5319-1741(代) FAX:03-5319-1744 <http://www.kodomo-kai.or.jp>

社団法人 全国子ども会連合会 『MOTTAINAIキッズ植林プロジェクト』

東京都子ども会連合会「動物とふれあいの森づくり」(恩賜上野動物園)』

主 催: MOTTAINAIキッズ植林プロジェクト実行委員会
(構成:(社)全国子ども会連合会、(社)国土緑化推進機構、(株)毎日新聞社)

共 催: 恩賜上野動物園、(NPO)樹木・環境ネットワーク協会

開催日: 平成19年3月31日 10:00~12:30

開催地: 「恩賜上野動物園」(東京都台東区)

参加者: 台東区他動物園近隣に在住する小学生約50名

活動概要

ケニアのワンガリ・マータイさんが推奨する「MOTTAINAI運動」を受けて全国各地で植樹活動を行っている。そのひとつとして、子どもたちが動物の食糧や生息地と関係が深い樹木を植樹し、動物と植物の共存関係について認識してもらうと共に、「もったいない」の精神を育んだ。

- レッサーパンダ舎、クマ舎、西側圃場への3エリアに植樹
- 園内“動物園ラリー”の実施 (それぞれの動物と植物との関わりを理解)
- 【樹種】ナワシログミ、トウネズミモチ、ヤマモモ、イロハモミジ、サルナシ、ヤマブドウ、ドウツトウヒ
- 【植え付け本数】42本

活動成果

植樹の一連の体験作業を通じて、子どもたちが植物や動物がつながっていること、子どもたちによる植樹風景(レッサーパンダ舎内イロハモミジの木を植える)ひいては人の命と動植物の命もつながっていることを自覚し、未来に向けて一人ひとりが自覚を持って、動植物を含めさまざまな生物が共存できる環境を守りつくっていくことの大切さを認識いただいたことが、今回の大きな成果である。

参加者の声

「大きくなって自分が植えた木にまた会いに来たい」

「動物は餌として植物を食べるだけじゃなくて、登ったりやすんだりいろいろなかたちで植物に守ってもらっていることを知った」



▲東京都子ども会連合会 会長 小野清子氏による挨拶



▲作業前に指導者から動物と樹木の関わりについて説明。



▲子どもたちによる、レッサーパンダが登って休む「ヤマモモ」の木の植樹



▲動物(サル・キリン等)が好んで食べる「トウネズミモチ」の植樹(西側圃場)



▲グループに分かれて、動物と樹木の関わりをクイズで学ぶ「動物園ラリー」



▲子どもたちによる「イロハモミジ」の植樹風景(レッサーパンダ舎内)



▲植樹活動と動物園ラリー終了後に、動物園関係者やスタッフとの集合写真